

Sep. 27-28

1997

環境経済・政策学会

1997年大会 プログラム

1997年	9月	27日 (土)	9時30分～17時30分
		28日 (日)	9時30分～17時15分

於 北九州大学

主催 環境経済・政策学会

協賛 (助)北九州コンベンションビューロー

	中教室 C402	小教室 D401	小教室 D402	大教室 C401	中教室 C403	小教室 D403
	アジアの環境問題 (1) A-1~A-5	環境価値と環境資 源勘定 (1) B-1~B-5	地球温暖化対策 C-1~C-5	環境政策諸手法の 比較・評価 (1) E-1~E-4	資源・エネルギー ・環境 (1) G-1~G-4	環境保全意識・行 動 I-1~I-5
9月27日	アジアの環境問題 (2) A-6~A-10	環境価値と環境資 源勘定 (2) B-6~B-10	地球規模での環境 管理と国際協力 D-1~D-5	環境政策諸手法の 比較・評価 (2) E-5~E-9	資源・エネルギー ・環境 (2) G-5~G-9	自由論題 (1) J-1~J-4
				会員総会		
				懇親会 (リーガロイヤルホテル)		
	アジアの環境問題 (3) A-11~A-15	環境マネジメント と環境監査 F-1~F-4	技術革新と環境 H-1~H-5	環境政策諸手法の 比較・評価 (3) E-10~E-14	資源・エネルギー ・環境 (3) G-10~G-14	自由論題 (2) J-5~J-9
9月28日				特別講演・シンポジウム (特大教室)		

第1日 1997年9月27日(土) 午前の部

セッション 9:30~12:25

(各セッション1報告あたり、報告20分、討議7分、質疑応答8分)

タイトル	報告者 氏名 所属	キーワード	討論者 氏名 所属
A. アジアの環境問題(1) 座長: 戸田常一(広島大学)・和気洋子(慶應義塾大学) 中教室 C402			
1 中国における郷鎮工業の展開と環境対策の現状	竹歳一紀 桃山学院大学経済学部 荒山裕行	中国、郷鎮工業、環境対策、経済発展	李 志東 長岡技術科学大学
2 中国遼寧省瀋陽市のボイラ分析とSOx 排出に関する実情分析	池田明由 早稲田大学社会科学部 桜本 光 慶応義塾大学商学部 宗殿家 瀋陽市環境保護局 吉岡完治 慶応義塾大学産業研究所	SOx, ボイラ, 中国, 遼寧省, 瀋陽市	野田清敏 北九州市環境局
3 黄浦江の水質汚染制御政策の経済分析	陳 桜 京都大学	黄浦江, 政策の併用, 汚染削減インセンティブ, 中国の環境経済対策	新沢秀則 神戸商科大学
4 貿易と環境: 中国の場合貿易自由化の方向はSOxを防げるか	篠崎美貴 慶応大学大学院 和気洋子 慶応大学商学部 吉岡完治 慶応大学産業研究所	SOx, 環境産業連関表, 貿易自由化	藤川清史 甲南大学
5 中国における日系進出企業と環境問題 - 直接投資とその環境的意味 -	松本 亨 九州大学工学部環境システム工学研究センター 井村秀文	直接投資, 日系進出企業, エネルギー消費, 中国	野上健治 松阪大学
B. 環境価値と環境資源勘定(1) 座長: 北島佳房(京都大学)・鷲田豊明(和歌山大学) 小教室 D401			
1 環境共生型住宅地の環境評価-多摩ニュータウンを事例として	榎原依子 東京都立大学大学院都市科学研究所 萩原清子	環境共生型住宅地, 環境保全改善技術, 住民満足度, 環境評価	藤田 壮 大阪大学工学部環境工学科
2 ダム建設によって失われる生態系の価値の評価-CVM(仮想評価法)による評価-	葉山浩一 北海道大学農学部	環境評価, CVM, 生態系, ダム, 河川	薫 祥哲 南山大学経営学部
3 住民意識調査による公園緑地の評価	横山真吾 東京都立大学大学院都市科学研究所 萩原清子	都市公園, CVM, 存在価値, 自然緑地	押谷 一 立正大学
4 水源林保全政策の分析-CVMによる接近-	吉田謙太郎 農林水産省農業総合研究所	水源林, 受益者負担原則, CVM	古井戸宏通 森林総合研究所
5 環境コストの内部化をめぐる様々なアプローチ-その整理と類型化のための一考察-	古沢広祐 国学院大学経済学部	外部経済, 内部化, 環境価値, 社会経済システムの捉え方	鷲田豊明 神戸大学
C. 地球温暖化対策 座長: 山地憲治(東京大学)・森口祐一(国立環境研究所) 小教室 D402			
1 地球温暖化による臨海都市の海面上昇対策への計画アセスメント	広松 猛 生活価値創造住宅開発技術研究組合	海面上昇対策, 計画アセスメント, AHP分析法, 社会影響評価, 最適対策法判定	落合仁司 同志社大学
2 地球温暖化防止対策における日本と中国の協調可能性について	山下英俊 東京大学大学院総合文化研究科 後藤則行	地球温暖化対策, エネルギー経済モデル, 国際協力, 環境政策評価	落合仁司 同志社大学
3 二酸化炭素排出抑制を目的とした動的投入算出モデルとその双対モデル	田村坦之 大阪大学大学院基礎工学研究科 安部 誠 富山伸司 鳩野逸生	システム論, 地域温暖化対策, 炭素税, 動的投入産出分析, 動的線形計画モデル	吉岡完治 慶応義塾大学産業研究所
4 ドイツにおける環境税制改革論争の展開	諸富 徹 京都大学大学院	環境税制改革, ドイツ, 環境エネルギー税	飯野靖四 慶応義塾大学
5 大学の活動による環境負荷発生の実態とその削減の可能性	平井康宏 京都大学大学院工学研究科 鈴木靖文 高月 紘 酒井伸一	大学, 環境負荷評価, 二酸化炭素, 対策評価	山本和夫 東京大学環境安全センター
E. 環境政策諸手段の比較・評価(1) 座長: 森田恒幸(国立環境研究所)・後藤則行(東京大学) 大教室 C401			
1 非点源水質汚濁への対策-農業、住宅2部門モデルによる分析-	西澤栄一郎 農林水産省農業総合研究所	非点源汚染, 2部門モデル, 土地利用, 費用効率性, 琵琶湖	森田恒幸 国立環境研究所
2 エネルギー・経済モデルを用いた日本の大気汚染対策のバックキャスト分析-二酸化硫黄の削減対策を中心として-	小林由典 東京工業大学社会理工学研究科 森田恒幸	動的最適化モデル, 二酸化硫黄対策, 公害被害関数, バックキャスト分析	後藤則行 東京大学
3 北九州市における国際環境協力の現状と課題	篠原亮太 北九州市環境局	北九州市, 国際環境協力, アジア地域, 環境保全, 技術移転	坂井宏光 九州国際大学
4 北九州市の公害対策史	藤倉 良 九州大学工学部環境システム工学研究センター	大気汚染, 水質汚濁, 洞海湾, 市民意識, 企業意識, 法制度	篠原亮太 北九州市
G. 資源・エネルギー・環境(1) 座長: 細田衛士(慶応義塾大学)・高月紘(京都大学) 中教室 C403			
1 容器包装廃棄物の流通業店頭回収における効果と課題	佐々木雅一 資源リサイクルセンター 浦辺貞郎 阿部 功	容器包装廃棄物, ハットボトル, 店頭回収, ステーション回収, 廃棄物回収コスト	早瀬光司 広島大学
2 廃棄物リサイクル、廃棄物処理、およびその採算性-恒常経済モデルからの視点-	松波洋也 法政大学経済学部	容器包装リサイクル法, ステファンノイマンモデル, 資源節約, 収益性規制, 恒常状態	細田衛士 慶応義塾大学
3 デュアルシステムの経済分析	喜多川進 京都大学大学院経済学研究科	リサイクルシステム, 廃棄物減量効果, 費用負担問題	大塚 直 学習院大学法学部
4 リサイクリングとカスケディング	富岡昌雄 滋賀県立大学環境科学部	リサイクリング, カスケディング, サステナビリティ, ゼロエミッション	高月 紘 京都大学環境保全センター

I. 環境保全意識・行動		座長：秋山道雄（滋賀県立大学）・阿部治（埼玉大学）		小教室 D403
1 地球環境問題をめぐる企業と消費者の意識のギャップについて	新村保子 住友生命総合研究所 桂川孝子 鈴木清三 田畑真央 青柳みどり 国立環境研究所 加藤三郎 環境・文明研究所	企業の環境意識、環境意識のギャップ、情報公開	二渡 了	産業医科大学産業保健学部
2 環境リテラシーとメディア	青柳みどり 国立環境研究所	メディア、環境リテラシー、態度形成	二渡 了	産業医科大学産業保健学部
3 生活者による廃棄物減量に関するモデル的検討	鈴木靖文 京都大学環境保全センター 高月 紘 酒井伸一	ライフスタイル、環境配慮行動、ゲーム理論、廃棄物	石川雅紀	東京水産大学
4 複数企業における紙類に着目した環境パフォーマンス評価とその環境監査	早瀬光司 広島大学大学院生物圏科学研究科 井山慶信 赤井 裕	環境パフォーマンス評価、環境監査、系と環境、環境収支簿記、複数企業	山田國廣	京都精華大学
5 土壌汚染浄化対策の費用負担	竹内憲司 明治大学短期大学	土壌汚染、費用負担、蓄積性汚染、公害防止事業費事業者負担法	柳 憲一郎	明海大学不動産学部

第1日 1997年9月27日（土）午後の部

昼食 12:25~13:30

セッション 13:30~16:25

（各セッション1報告あたり、報告20分、討議7分、質疑応答8分）

タイトル	報告者 氏名 所属	キーワード	討論者 氏名 所属
A. アジアの環境問題（2）		座長：松岡譲（名古屋大学）・山下彰一（広島大学）	
中教室 C402			
6 土壌改良と酸性雨解決に向けた日中国際環境協力	新田義修 北海道大学農学研究科	土壌改良、酸性雨、脱流石摩装置、大気汚染、食糧問題	藤倉 良 九州大学工学部
7 中国の環境投資	吉田文和 北海道大学経済学部 土居玲子	中国、環境投資、排污費、産廃	山下彰一 広島大学
8 環境投資の資金調達から見る中国の環境保全システム	李 志東 長岡技術科学大学計画経営	環境投資、資金調達チャンネル、供給漏れ、環境保全システム	神野直彦 東京大学経済学部
9 中国の経済成長・エネルギー消費・大気汚染	松岡俊二 広島大学大学院国際協力研究科	中国、エネルギー消費、大気汚染、経済成長、発電効率	勝原 健 東亜大学法学部
10 専門家調査による中国の中長期的環境展望	金子慎治 九州大学工学部環境システム工 井村秀文 学研究室	中国、環境将来予測、専門家調査、Heuristic Analysis	勝原 健 東亜大学法学部
B. 環境価値と環境資源勘定（2）		座長：鶴野公郎（慶應義塾大学）・落合仁司（同志社大学）	
小教室 D401			
6 Comparative Risk Assessment による環境総合評価と意思決定支援の課題	松橋啓介 国立環境研究所 寺園 淳 森口祐一	環境リスク、総合評価、環境問題領域、ランニング、Comparative Risk Assessment	池田三郎 筑波大学社会学部
7 NAMEAについて	池 俊廣 経済企画庁経済研究所	環境と価格評価しない経済環境勘定、酸性化問題、富栄養化問題	若井郁次郎 日建設計
8 わが国のマテリアルフローの推計と欧米諸国との比較	森口祐一 国立環境研究所	マテリアルフロー、自然資源、物量勘定、エコロジカルリユース	山地憲治 東京大学工学部
9 A Complete SEEA: An Extension of the SEEA to the International Environmental Problems	有吉範敏 熊本大学法学部	環境経済統合勘定体系（SEEA）、環境統計、国際的環境問題、SNA	山地憲治 東京大学工学部
10 地域における環境・経済統合勘定—富山県の場合	青木卓志 金沢大学大学院社会環境科学研究科 桂木健次 富山大学経済学部 増田信彦 富山大学経済学部	環境経済統合勘定、環境勘定、環境評価、国民経済計算体系、地域経済	有吉範敏 熊本大学法学部
D. 地球規模での環境管理と国際環境協力		座長：淡路剛久（立教大学）・岩間徹（西南学院大学）	
小教室 D402			
1 シナリオ作成法を用いた気候変動問題に対する今後の国際協調の予測	川島康子 国立環境研究所	気候変動枠組み条約、国際協調、シナリオ作成法	横山 彰 中央大学総合政策学部
2 共同実施成立のための諸条件の検討	藤田康範 慶応義塾大学経済学部	地球温暖化、共同実施、汚染物質排出規制、理論分析、国際環境協力	横山 彰 中央大学総合政策学部
3 地球環境管理と環境法の理論—地球気候変動条約の考え方—	山村恒年 関西学院大学総合政策学部	地球環境権、地球リスクアセスメント、地球正義論、地球温暖化対策	一之瀬高博 佐賀大学経済学部
4 多国間国際環境条約交渉の構造と過程—歴史的展望と教訓	碓氷 尊 淑徳大学国際コミュニケーション学部	多国間環境条約、国際交渉、プロセス運営政策、多国間交渉の理論、経験からの提言	岩間 徹 西南学院大学法学部
5 国際環境アセスメント制度の実効性および効率性を確保する手続—エスホー条約を素材として—	田代薫子 西南学院大学大学院	国際環境アセスメント制度、実効性、効率性、スクリーニング、通報・協議	淡路剛久 立教大学

E. 環境政策諸手段の比較・評価 (2)		座長：長谷川公一 (東北大学)・仁達孝昭 (滋賀県立大学)		大教室 C401	
5 スウェーデンの環境政策の検証	小沢徳太郎	持続可能な社会、循環政策(エコサイクル)、政策決定プロセス、経済的手段、エネルギー体系の転換、課税対象の転換	鳥丸 聡	九州経済調査会	
6 環境管理型社会に向けての環境権の意義に関する考察	松野信夫	環境権、環境管理型社会、法政策、sustainable development、衡平	和気洋子	慶應義塾大学	
7 環境政策における権利の評価	藤堂史明 東京大学大学院経済学研究科	環境権、将来世代、地域資源管理、コースの定理、世代重複モデル、環境政策	戸田常一	広島大学	
8 持続可能な地域発展とエコツーリズム	藤山 浩 広島大学大学院国際協力研究科 戸田常一 広島大学経済学部	エコツーリズム、地域発展、インパクトアナリシス、低環境負荷の地域システム	長谷川公一	東北大学	
9 日本におけるミティゲーションの現状と課題	宮部千秋 九州大学大学院経済学研究科 山崎 朗 九州大学経済学部	ミティゲーション、開発、環境保全、自治体、環境政策	遠州尋美	日本福祉大学	
G. 資源・エネルギー・環境 (2)		座長：植田和弘 (京都大学)・早瀬光司 (広島大学)		中教室 C403	
5 畜産、水産廃棄物処理の現状と課題ー特に九州地域のレンダリング業を中心にー	松永裕巳 九州大学大学院経済学研究科 外川健一 九州大学石炭研	畜産業、水産業、レンダリング、リサイクル、悪臭公害	寺西俊一	一橋大学経済	
6 リサイクルの産業化か産業のリサイクル化かー自動車リサイクルのシュレッダーダスト問題を中心にー	外川健一 九州大学石炭研 鳥丸 聡 九州経済調査協会	自動車、リサイクル、シュレッダーダスト、環境政策、産業政策	平尾元彦	農大	
7 A Dynamic Aspect of a Recycling Process	細田衛士 慶應義塾大学経済学部	容器包装リサイクル法、回収義務量、動	植田和弘	京都大学経済学部	
8 ダイオキシン類に対する廃棄物対策と今後の環境政策	酒井伸一 京都大学環境保全センター	学系、安定化政策 廃棄物、産業、ダイオキシン類、発生抑制、環境サイクルコントロール	宇井 純	神純大学	
9 鉄鋼製品の使用段階におけるエネルギー評価	井ノ口和好 新日本製鐵 吉岡完治 慶應義塾大学	鉄鋼、エネルギー	藤井美文	文教大学	
J. 自由論題 (1)		座長：二渡了 (産業医科大学)・郡篤孝 (同社社大)		小教室 D403	
1 環境報告書の評価ーその目的と意義ー	湯田雅夫 独協大学	環境報告書、環境声明書、エコピラン、EMAS、ISO14000シリーズ	河野正男	横浜国立大学	
2 環境経済の枠組ー新たな経済価値の創造に向けてー	押谷 一 立正大学短期大学部	経済性、持続可能な経済、枠組み、資源の最適配分、均衡	鈴木 博	北海道学園北見大学	
3 環境効率概念の理論的基礎と政策への適用について	倉取秀史 環境庁企画調整局	環境効率、不要物、経済的手法、物的資源、人的資源	郡篤 孝	同志社大学経済学部	
4 内部化と第三者の存在ー環境政策とのパラドクス	大山明男 大阪市立大学大学院経済学研究科	外部性、第三者、受益国、受苦国、ダブルスタンダード	柴田弘文	立命館大学経済学部	

会員総会 16:30~17:30 会場:大教室 C401

懇親会 18:15~ 会場:リーガロイヤルホテル小倉

第2日 1997年9月28日(日) 午前の部

セッション 9:30~12:25

(各セッション1報告あたり、報告20分、討議7分、質疑応答8分)

タイトル	報告者 氏名 所属	キーワード	討論者 氏名 所属
A. アジアの環境問題 (3)			
座長：横山彰 (中央大学)・松岡俊二 (広島大学)			
11 中東諸国における人口学的行動の環境関連規定要因	小島 宏 国立社会保障・人口問題研究所	中東、環境衛生、人口学的行動、マイクロデータ、ロジット分析	松岡 謙 名古屋大学
12 韓国での酸性雨原因物質の制御対策とその評価に関する研究ー特に二酸化硫黄対策を中心にー	李 東根 祥明大学(韓国)	酸性雨、二酸化硫黄、燃料転換、排煙脱硫装置	松岡 謙 名古屋大学
13 韓国での二酸化炭素の削減対策の評価に関する研究(英語)	丁 太席 韓国エネルギー経済研究院(韓国)	韓国、二酸化炭素排出量、シミュレーションモデル、エネルギー節約機器	松岡俊二 広島大学
14 東アジアの環境問題における環境クズネット曲線ー後発性の利益と不利益	野上裕生 アジア経済研究所	環境クズネット曲線、後発性の利益、後発性の不利益、転換点、初期条件	平岡義和 奈良大学文学部産業社会学科
15 台湾における環境教育政策2	萩原 豪 学習院大学大学院政治学研究所	環境教育政策、環境政策、エネルギー政策、原子力	阿部 治 埼玉大学教育学部
E. 環境政策諸手段の比較・評価 (3)			
座長：小幡範雄 (立命館大学)・吉田文和 (北海道大学)			
10 公害対策の実施が企業行動に及ぼす影響についてー高度成長期の鉄鋼業を事例として	河原田麻衣 慶應義塾大学経済学研究科	社会的損失、企業の公害対策、予防的対策、補償、鉄鋼業の大気汚染	吉田文和 北海道大学経済学部
11 東京都のNOx政策の医療費からみた効果の分析	Voorhees, 米国EPA A.S. 酒井亮二 東京大学医学部公衆衛生 荒記俊一	NOx、環境政策、医療費、効果分析、東京都	山本秀一 和歌山大学
12 環境基準の変更にともなう便益ーアメリカにおけるオゾン層基準変更と健康影響	村上奈穂子 東京工業大学社会理工学研 Mckeever, 究科 M.	環境の価値評価、大気環境基準、費用便益分析、対流圏オゾン	秋山道雄 滋賀県立大学

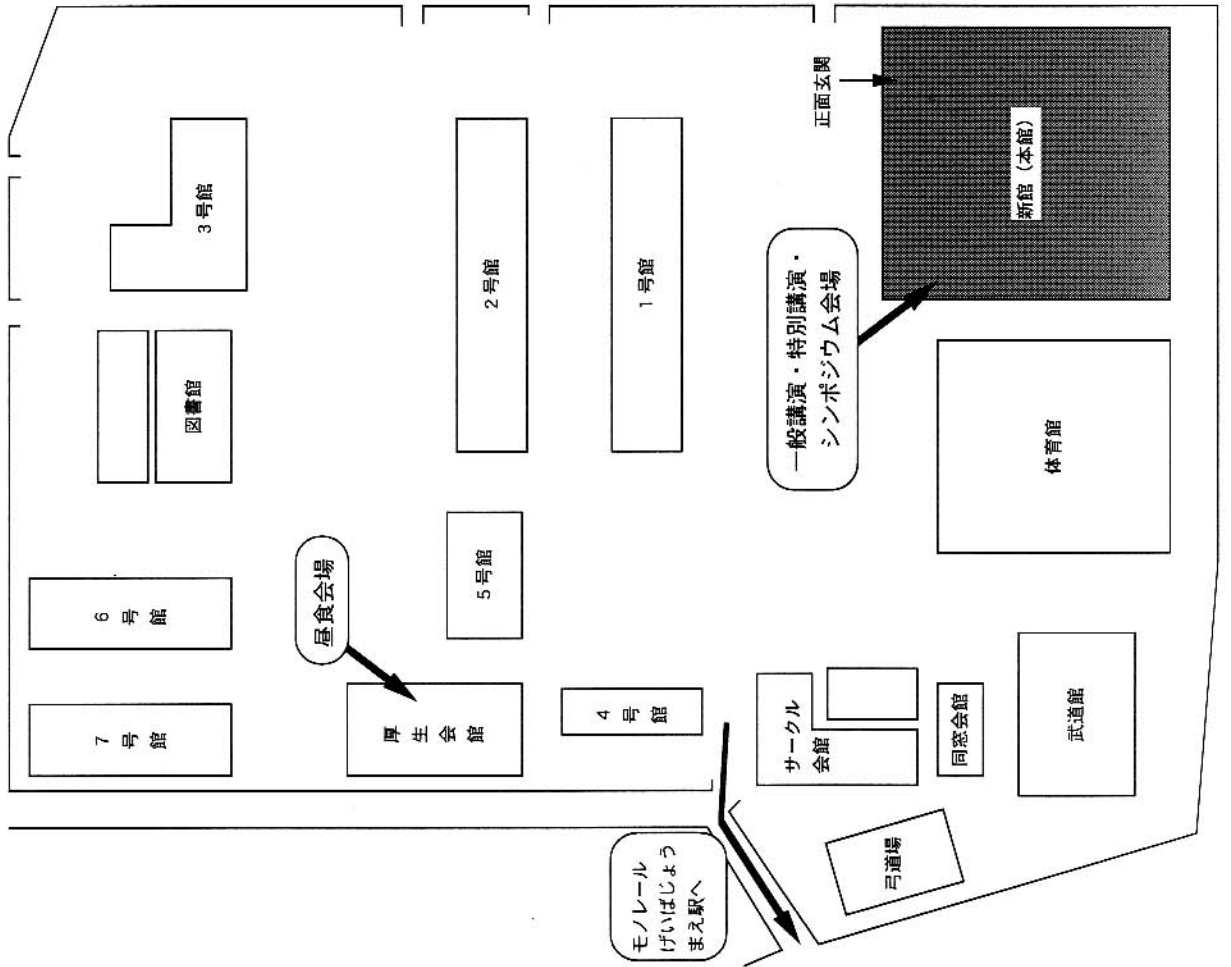
13 費用効果分析におけるエンドポイントの選択問題 -大気汚染リスクと自動車事故リスクとの比較	岸本充生 京都大学大学院経済学研究科	大気汚染、自動車事故、費用効果分析、非到死リスク	瀧生昌志 資源環境技術総合研究所
14 環境に配慮した割引率や割引計算	長谷川弘 日本工営株式会社環境部	割引率、割引計算、便益費用分析、環境の経済評価、現在価値	小幡範雄 立命館大学
F. 環境マネジメントと環境監査	座長：寺西俊一（一橋大学）・矢部浩祥（中央大学）		小教室 D401
1 国内の地方自治体における環境マネジメントシステム構築の現状と課題	穴戸雅子 KPMGセンチュリー審査登録機構	環境マネジメントシステム、環境会計、地方自治体、環境政策、ISO14001	矢部浩祥 中央大学
2 環境マネジメント・監査手法の考察	田中 謙 神戸大学大学院法学研究科	監督手法の限界、協働原則、誘導手法、EMAS、ISO14000	杉元 勝 監査法人トーマツ
3 企業における環境マネジメントシステムと品質システムの統合の有効性について	森 哲郎 KPMGセンチュリー審査登録機構	ISO 9000, ISO 14001, 環境マネジメントシステム、品質システム、インテグレーション	斎藤寅男 九州産業大学
4 環境戦略と公開思想 トランスフォーメーションの視点から	大西清彦 北海道情報大学	公開制、トランスフォーメーション、環境戦略、プロセス、環境監査	倉阪秀史 環境庁
G. 資源・エネルギー・環境（3）	座長：松波淳也（法政大学）・古沢広祐（國學院大学）		中教室 C403
10 世界の各種バイオマスの需要分析	山本博巳 電力中央研究所 経済社会研究所 山地憲治 藤野純一	バイオマス、GDP、購買力平価、食料需要、バイオエネルギー	赤尾健一 早稲田大学社会科学部
11 サトウキビ工場におけるバイオマス利用の現状と改善策の提案	藤野純一 東京大学工学系研究科電気工学専攻 山地憲治 山本博巳	バイオエネルギー、廃棄物利用、バガス、エネルギーフロー、二酸化炭素	古沢広祐 国学院大学経済学部
12 Trade Technology Transfer and the Environment; An International Econometric Analysis of Asian Timber Trade	大西 博 上智大学経済学部 兼光秀郎	アジア熱帯雨林、木材木工農業、貿易制限、技術移転、生産代替	川島康子 国立環境研究所
13 林産物の世界貿易モデルによる森林の持続可能性と環境価格形成の分析	島本美保子 法政大学社会学部	森林、再造林費、世界貿易モデル、持続可能性	永田 信 東京大学農学部
14 カーボンフォレストの最大計画	赤尾健一 早稲田大学社会科学部	森林資源、二酸化炭素吸収、最大計画	松波淳也 法政大学経済学部
H. 技術革新と環境	座長：伴金美（大阪大学）・吉岡完治（慶應義塾大学）		小教室 D402
1 環境政策に寄与する投資促進要因の分析（仮題）	伊藤 康 千葉商科大学	環境規制、誘導的手段、技術革新、end-of-pipe technology, cleaner production	永井 進 法政大学経済学部
2 環境問題に対する自動車技術の開発過程	今関隆志 日産自動車	自動車、技術開発、技術革新、排ガス規制、電気自動車	外川健一 九州大学石炭研究資料センター
3 核融合炉のエネルギー源としての評価	時松宏治 東大院工学系研究科電気工学専攻 本藤祐樹 山地憲治 桂井 誠	トカマク型核融合炉、経済性、エネルギー収支分析、LCA	伴 金美 大阪大学
4 日本農業における環境保全型技術革新の可能性	鬼木俊次 九州共立大学経済学部	農業、技術革新、時系列分析	吉岡完治 慶應技術大学
5 PRTR制度の有害物質対策に対する有効性の研究	勝田 信 勝田環境研究オフィス	PRTR制度、有害物質、環境リスク、環境法、TRI制度	森口祐一 国立環境研究所
J. 自由論題（2）	座長：磯崎博司（岩手大学）・室田武（一橋大学）		小教室 D403
5 環境問題を持続可能性に関する5条件で考える	梶田 敦 名城大学商学部	持続可能性	室田 武 同志社大学
6 外部性理論のオルタナティブとしての特性-機能アプローチ-タバコの副流煙と携帯電話の電磁波を例として	佐藤公敏 亜細亜大学経済学部	マイナスの外部性、Gorman-Laucasterの特性、Semの機能、タバコの副流煙、携帯電話の電磁波	室田 武 同志社大学
7 豊かさや環境の関係-生命環境経済学の視点から	稲場紀久雄 大阪経済大学	豊かさ、幸せ、世代間、移譲、生命	丸山真人 東京大学教養学部
8 A Consideration of Hartwick's Rule	大沼あゆみ 東京外国語大学	持続可能な発展、ハートウィックルール、net investment	磯崎博司 岩手大学
9 スペースデブリ対策の費用効果分析	辻 稔郎 大阪国際大学大学院経営情報学研究科	宇宙環境、宇宙開発、外部不経済、リスク削減、費用対効果	磯崎博司 岩手大学

第2日 1997年9月28日（日）午後の部

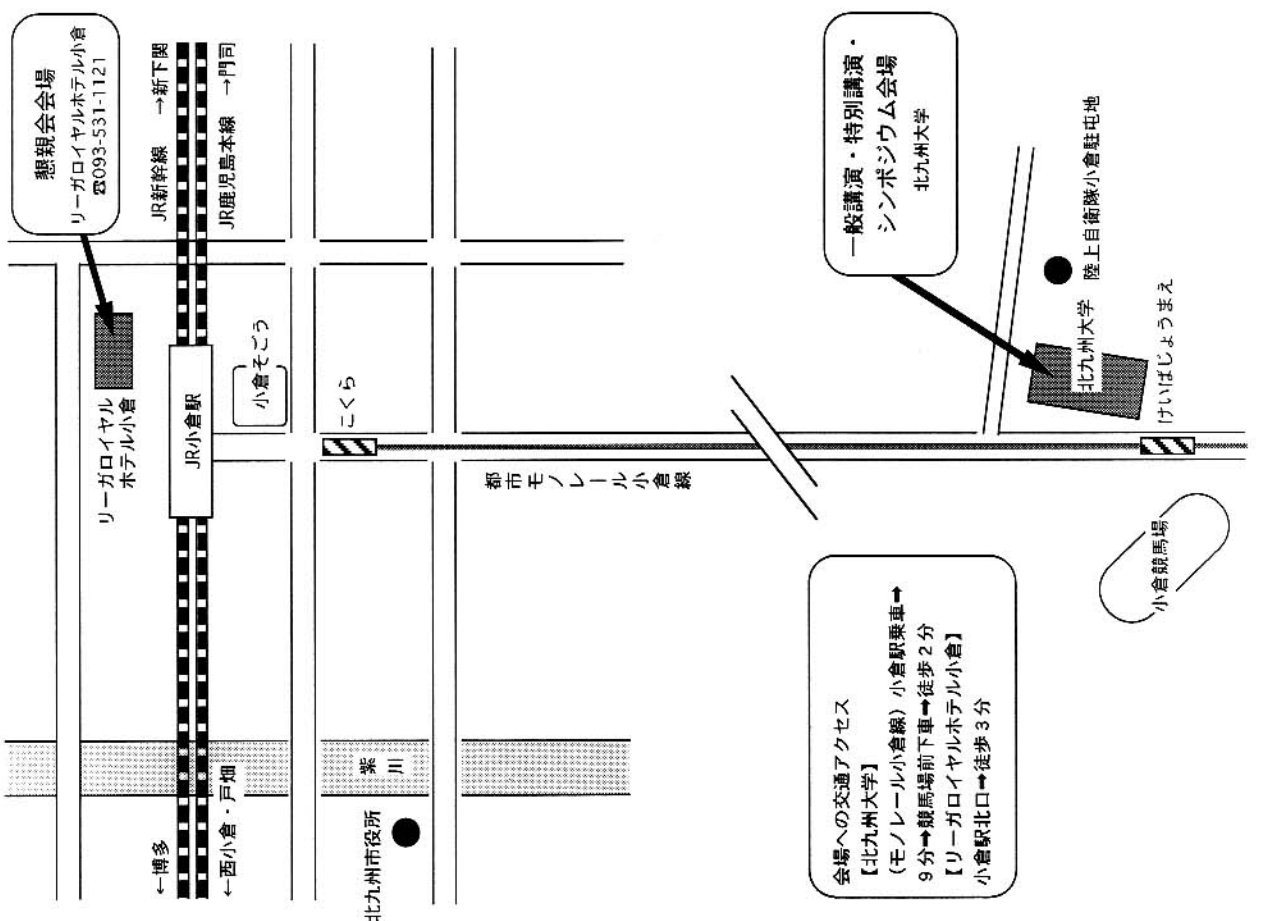
特別講演 13:30~14:30 会場：特大教室
 テーマ：中国における国家環境戦略研究（仮題）
 講演者：張 坤民（中国環境保護局副局長）（予定）

シンポジウム 14:30~17:15 会場：特大教室
 テーマ：東アジアにおける環境経済・政策研究の国際的展開
 総司会：井村秀文（九州大学）
 基調報告者：金一中（東国大学教授、韓国環境経済学会会長）
 パネリスト：金政炫（立命館大学）、李東根（韓国・祥明大学）
 嚴善平（桃山学院大学）、李志東（長岡技術科学大学）
 寺西俊一（一橋大学）、勝原健（東亜大学）

環境経済・政策学会1997年会 会場案内図<北九州大学>

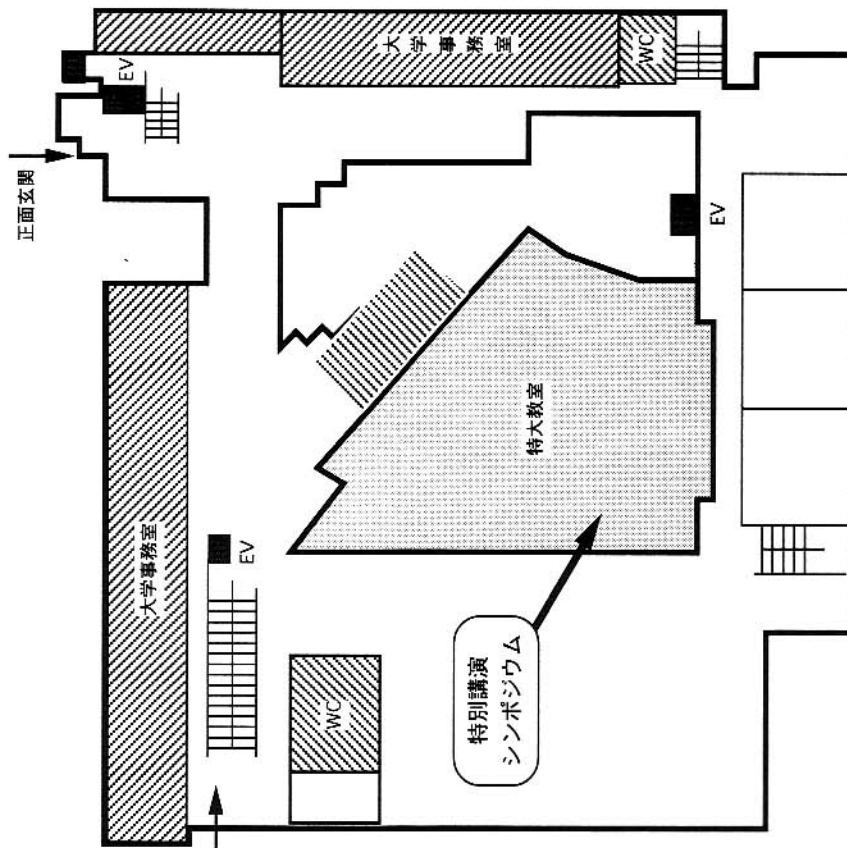


環境経済・政策学会1997年会 会場案内図



環境経済・政策学会1997年会 会場案内図<北九州大学 / 会場配置>

<新館1階>



<新館4階>

